



MRI に代表される脳機能イメージング技術は、近年その発展が著しく、ヒト脳内の領域間の結合状態を網羅的に解析できるようになり、複雑な機序が示唆されるヒトの「モチベーション」の神経基盤解明にも寄与できると考えられます。このような最新の脳機能イメージング技術について、具体的な研究データを示しながら概説します。

新学術領域 意志動力学の創成と推進 共催
同志社大学心理学部「ヒューマン・モチベーション」

オンライン公開講座 2020

モチベーションの脳機能イメージング

講師 大石 直也 先生

(京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター)

公開期間 12月8日(火)～12月14日(月)

<講師紹介>

京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター、特定准教授
1999年京都大学医学部卒業。京都大学病院、財団法人住友病院で神経内科専攻医。2008年京都大学大学院医学研究科博士課程修了、学位取得。京都大学大学院医学研究科脳機能総合研究センター・LIMS リーディング大学院を経て、2018年より現職。MRI に代表される非侵襲的脳機能イメージング研究に従事し、現在は最先端の超高磁場 MRI を用いた脳コネクトーム研究や人工知能を通じた精神・神経疾患の病態解明に挑んでいる。



申込み・お問い合わせ

メールのみ rs-mc28@mail.doshisha.ac.jp 事務局：森村まで
メールの件名を「同志社大学心理学部オンライン公開講座 2020 申込み」とし、
本文に「①氏名（フリガナ）②年齢 ③E-mail アドレス ④電話番号」を記入の上、
12/11（金）午前9：00 までにお申込みください。

科研費
KAKENHI



<http://willdynamics.com>